

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年 9月 6日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2874400431 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 日高愛の園 | | |
| 所在地 | 兵庫県豊岡市日高町栗山661 (電話) 0796 - 44 - 1368 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年 8月10日 | 評価確定日 | 平成19年 9月 6日 |

【情報提供票より】(平成19年7月10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|----------------------|------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 17年 5月 1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 14 人 | 常勤 14人, 非常勤 0人, 常勤換算 | 14 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|----------------|--|--|
| 建物構造 | 木造平屋 造り | | |
| | 1 階建ての ~ 1 階部分 | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|----------|---|
| 家賃(平均月額) | 38,000 円 | その他の経費(月額) | 16,000 円 | |
| 敷金 | 有() 円 (無) | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有() 円 (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,200 円 | | | |

(4) 利用者の概要(7月10日現在)

| | | | | | |
|-------|------------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 14 名 |
| 要介護1 | 6 | 要介護2 | 5 | | |
| 要介護3 | 4 | 要介護4 | 2 | | |
| 要介護5 | 0 | 要支援2 | 1 | | |
| 年齢 | 平均 80.27 歳 | 最低 | 60 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | 谷垣医院、 由良歯科医院 |
|---------|--------------|

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな山間の季節感が十分満喫できる環境で、近くにぼたん寺で有名な隆国寺があり、ホームの日課の散歩のコースにもなっている。ホーム内の雰囲気は落ち着いた感じで入居者の方や職員の会話の音が穏やかに聞こえる。キリスト教の教えを基本に入居者主体、安心した暮らし、個人の尊重、ご家族・地域との交流を理念に掲げ、日々のケアにあたられている。職員は入居者の方々にとって家が一番であるが、「ここも良いなあ」と思ってもらえ、第二の家庭となり得ることを目標として、自立した暮らしを支えられている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4) |
| | 前回の評価を活かして共用空間での居場所づくりを工夫する等、できることから取り組まれている。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4) |
| | 管理者と施設長とでまず取り組み、職員が確認し、意見をまとめられている。自己評価により多くの気づきを得られ、評価が活かせる取り組みにつなげられている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6) |
| | 運営推進会議ではグループホームの概要や様子を伝え、第三者評価の取組状況等の説明、避難訓練の状況を報告されている。参加者が限られているのが現状である。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8) |
| | 家族会を開催し、運営に関してもご家族の意見を取り入れ、個別にもご家族と連絡を密に取り、意見や要望を言いやすい状況作りに努められている。また、あげられた意見や要望はユニット会議で話し合われたり、申し送りノートに記載される等、全職員への周知も図られている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3) |
| 重点項目 | 行事を通して婦人会、老人会、子供会等との交流を多く持ち、ご近所の方々とも良好な関係が保たれ、近くの喫茶店では顔なじみになり、声をかけてもらえる等、日ごろから地域との連携に努められている。 |

2. 第三者評価結果票

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|---------------------|--|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者本人の主体的な決定が出来る支援、家庭的な安らぎ、個人の尊重、家族・地域との交流、職員の向上が盛り込まれた理念を掲げられている。 | | キリスト教の教えである仕える精神、「あなたも行って同じようにしなさい」をもとにし、地域で暮らす大切さも謳われている。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は、本人やご家族には入居時に説明され、職員は採用時に説明を受け、毎朝唱和されている。 | | 毎朝唱和することにより、初心に戻り、気持ちを引き締め、統一したケアができるよう心掛けられている。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 設立時から地元の方の協力を得られ、地域の中のグループホームとして婦人会、老人会、子供会等と多く交流し、ご近所の方々と入居者との交流も自然にできている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価は総施設長、管理者、職員で取り組み、自己評価により気づきも得られている。昨年の第三者評価を受けてできることから少しずつ改善に向けた取り組みが窺える。 | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|----|--|--|---------------------|---|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>今まで5回の運営推進会議を開催されておりグループホームの概要説明、第三者評価の取り組み等、状況報告がなされている。避難訓練についての報告時には避難場所の提供が得られる等向上もみられるが、参加者が限られているのが現状である。</p> | | <p>参加者に入居者、ご家族、地域住民、行政職員、地域包括センターの職員、知見者等多くの方々の協力を求め、地域の理解と支援が得られサービスの向上につなげた取り組みを期待する。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>今年度より地域包括ケア会議が、月に1回開催され、管理者が出席されている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>月に1回毎日の一言コメントや外出、行事について等、生活の様子を報告書にまとめ写真、預かり金明細書、健康状況、受診結果を送付し、ホームでの様子を伝えている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会を開催し意見交換をし、個別には面会時の会話の中で出た意見、要望はその都度、対応し職員会議でも話し合われている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動等で職員の交代時は、入居者が自然になじめるよう配慮されている。新人職員が入居者と良好な関係が構築できるようフォローしている。</p> | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|---------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 採用時にはマニュアルに沿って研修を行い、内部研修では系列の事業所で月に1回合同研修会、事業所内で週に1回勉強会を計画的に実施し、外部研修にも積極的に参加されている。 | | 外部研修には遠方でも職員が参加できる支援がなされており、全国認知症グループホーム大会にも出席されている。 |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | 日高地域ケア会議には出席されているが、日高町には他にグループホームがないためグループホーム同士の連携ができていない。 | | 地域を広げ豊岡のグループホームとの交流を図り日々のケアの向上につなげる取り組みに期待する。 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 入居前に本人、ご家族共に見学に来てもらい意向を聴いて、まず1ヶ月間の介護計画を立て、馴染みやすい環境づくりを図られている。また、ご家族と連絡を密に取り、協力を得て徐々に信頼関係が築ける工夫をされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 介護する立場でなく人生の先輩として学ぶ姿勢で一緒に喜び、悲しみを共感できる関係の構築に努められている。 | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|---------------------|--|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>職員は利用者の思いや意向を言動、表情から意図をくみ取り、一人ひとりの希望や要望に対応されている。また、本人の今までの経歴を考慮してどのように暮らしていきたいかを話し合われている。</p> | | <p>本人の希望でお墓参りがしたいがご家族の都合がつかず職員と一緒にいける等、個別の対応がなされている。</p> |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>まず、入居時に1ヶ月間の介護計画を立て、その後、半年に一度見直されている。介護計画はグループホームで暮らしやすく本人とご家族の意向を考慮した個別のものとなっている。</p> | | <p>新しい環境に慣れるまでの間と落ち着いて暮らしていくときを分けて計画を立て、職員が統一したケアができるよう取り組まれている。</p> |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>ユニット会議を月に2回開き、ケースカンファレンスで職員の意見を出し合い、「ケアプランの総括」で評価し、次のプランにつなげ、半年に一度は見直されている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>グループホームならではの外出の支援を心がけ、ご家族にも状況に応じた支援がなされている。</p> | | <p>受診の支援のため月に一度遠方から来所されるご家族に対して交通の便を考慮して最寄の駅まで送迎する支援がされている。</p> |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|----|--|--|---------------------|--|
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | 内科と歯科のかかりつけ医の協力を得られている。内科医とは連携がとれ、往診、夜間対応も可能である。また、看護師とも良好な関係が持たれ、相談できる体制が構築されている。 | | |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | 今までの事例はご家族の意向で自宅に戻られたがグループホームとしては取り組んでいく方針であるが体制が整っていないのが現状である。 | | ターミナルケアについては早期から本人、ご家族、医師とグループホームとで方針を決め、十分な話し合いと職員の体制を整えたうえで実施されることが望まれる。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | 理念の中にプライバシーの保護を盛り込み、毎朝唱和することで、職員一人ひとりが入居者の尊重や個人情報の保護に注意されている。 | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | 一人ひとりの希望に副えるよう本人、ご家族の意向の把握に努め、出来ることを日常生活の中でしてもらえよう場面作りを心掛けられている。 | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|---------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ホームの畑で取れた野菜も食材にし、入居者中心で食事作りや後片付けをされている。買い物も毎日行き、多くの方が調理に関われるよう、食卓でホットプレートを使用する等、工夫されている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日でも入浴できる体制にあり、本人の希望にあわせ、介助の要る方にはプライバシーに注意し、自立できている方には見守りで対応されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 手芸の得意な方には皆の座布団カバーを編んでもらったり、お茶やお花の先生をされていた方には行事の時に活躍してもらう等、その人の得意分野を考慮して役割を活かせる支援をされている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近所の散歩を毎朝の日課とされ、買い物は順番に少人数で毎日行かれている。また、希望があれば副えるよう職員が付き添い、外出の支援をされている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 短時間は鍵をかけないでいたり、出たい時を察知して鍵を開けたり工夫はされているが、安全面を考慮して日中も施錠されている。 | | 職員一人ひとりがアンテナを高くし、見落とさない見守りを徹底し、自由な暮らしを支えて欲しい。 |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|---|---|---------------------|-----------------------------------|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | 避難経路や夜間のマニュアル、緊急連絡体系を整備され、年に2回入居者も交えた消防訓練を実施されている。また、避難場所に近くの小学校と公民館を確保されている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | 栄養バランスを考慮した献立を1週間分たて、食事摂取状況をカルテに記載されている。水分摂取に関しては食事分以外の摂取量を水分チェック表に記載し、過不足にならないよう支援されている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | 共用の場所はそれぞれ自由にくつろげるように配慮され、さりげなく草花を飾られたり、季節に応じた装飾をされている。また、不快な音や光もなく自然で穏やかな雰囲気である。 | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | 居室は入居者それぞれの好みで生活用品や家具を置かれ、安心して暮らせるよう配慮されている。 | | |

は、重点項目。